

職場体験学習ご協力のお願い

未来の日本を担う若者の勤労観や職業人としての基礎を育てる取り組みです。

進路について自分なりの考え方を持ち進学したり就職できるようにするための取り組みです。

文部科学省 キャリア教育推進地域指定事業
「キャリア・スタート・ウィーク」一地域ですすめるみんなの職場体験一



地元経済団体

連携・協力

- 横芝中学校2年生135名が、11月7日(月)～11日(金)にかけて連続5日間の職場体験学習を行います。
- 千葉県では横芝町・芝山町地域を始めとして5ヶ所が地域指定を受けました。
- 職場体験学習の受け入れ等、地域のみなさんでの理解とご協力をお願いします。

★問い合わせ先★

- ▶ 横芝町教育委員会学校教育課
☎ 82-8829
▶ 横芝中学校
☎ 82-1245

俳句

横芝俳句栗江会

足利は学園織姫春る古都
合併は日出度く決まり青春を待つ

花水木古都の都にも映えて咲く
梅雨寒の休日道に人気なし

竹垣や棕櫚縄縛まり梅雨の冷え
屋敷町肩にひらひら花水木

下校時の甲高い声梅雨晴間
老いばれが人並みにつくる諸畑

柿若葉葉になるとて陽に干して
梅雨寒の厨に籠り豆を剥く

花水木散り込む池や鯉動く
花水木散り込む池や鯉動く

福田 幸子
令閑満喜子
長谷川正子

梅雨寒や郷土料理に舌づつみ
柿若葉葉になるとて陽に干して

老いばれが人並みにつくる諸畑
梅雨寒の厨に籠り豆を剥く

梅雨寒の厨に籠り豆を剥く
花水木散り込む池や鯉動く

選者 藤代 ゆう
伊藤 敬子
浅野 茂子
池田 逸子

ひこばえ俳句会（互選句）
一食の落を摘みしも心満つ

亡き母の三十七回忌に集ひたる
互に老いし妹弟に会ふ

盛りあがる若葉の匂ひ含みたる
風が早苗田渡り来るなり

田水張り一村光る風の中
待ち人の裏参道に著哉の花

鎌阿寺に尊氏偲ぶ青嵐
紫陽花に佐太郎の短歌添ふカレンダー

文芸

箇や衣はがされし皮の山
石垣の穴の暗がり草すみれ

小松 藤男
佐瀬 輝夫

安倉 道子
芹川 初子

布施 和代
押尾 輝子

玉蜀黍の発芽待ちゐる一週間
黒さ土より芽生え初めきぬ

永藤 滋
永藤 滋

藤棚の小暗き下も繁に
黒さ土より芽生え初めきぬ

渡部 和秋
渡部 和秋

白潮の里の植田や鶯群れる
妹眺に涙にじます

長谷川正子
耳許で「春江」と言ふに長病める

乾田が早苗田となる春四月
七十一歳癌に逝きたり

田崎 尚美
吉岡 信一

五月野の山路は藤の花咲きて
その花房がゆく手遮る

萩原 信一
吉岡 信一

忘れたる漢字を辞書にさがしつ
いつかも同じ字引きしと思ふ

山裾に寄りて家の建ち並び
諏訪湖のほとり灯り連なる

秋葉 悅子
佐瀬 初音

青葉かげゆれて斑をなす桜木の
並木を独り歩みゆくなり

佐瀬 初音
選者 斎藤つね子

亡き母の三十七回忌に集ひたる
互に老いし妹弟に会ふ

八角 三枝
西山満里子



道の辺にビオラ董の咲きみたり
われの好めるふかき紫

パソコンの操作のできぬもどかしさ
置かれし傍へに佇みみたり

永藤 滋
永藤 滋

蓑笠の小暗き下も繁に
黒さ土より芽生え初めきぬ

芹川 初子
押尾 輝子

布施 和代
佐瀬 輝夫

玉蜀黍の発芽待ちゐる一週間
黒さ土より芽生え初めきぬ

永藤 滋
永藤 滋

藤棚の小暗き下も繁に
黒さ土より芽生え初めきぬ

渡部 和秋
渡部 和秋

白潮の里の植田や鶯群れる
妹眺に涙にじます

長谷川正子
耳許で「春江」と言ふに長病める

乾田が早苗田となる春四月
七十一歳癌に逝きたり

田崎 尚美
吉岡 信一

五月野の山路は藤の花咲きて
その花房がゆく手遮る

萩原 信一
吉岡 信一

忘れたる漢字を辞書にさがしつ
いつかも同じ字引きしと思ふ

山裾に寄りて家の建ち並び
諏訪湖のほとり灯り連なる

秋葉 悅子
佐瀬 初音

青葉かげゆれて斑をなす桜木の
並木を独り歩みゆくなり

佐瀬 初音
選者 斎藤つね子

亡き母の三十七回忌に集ひたる
互に老いし妹弟に会ふ

八角 三枝
西山満里子

向後 寛

西山満里子